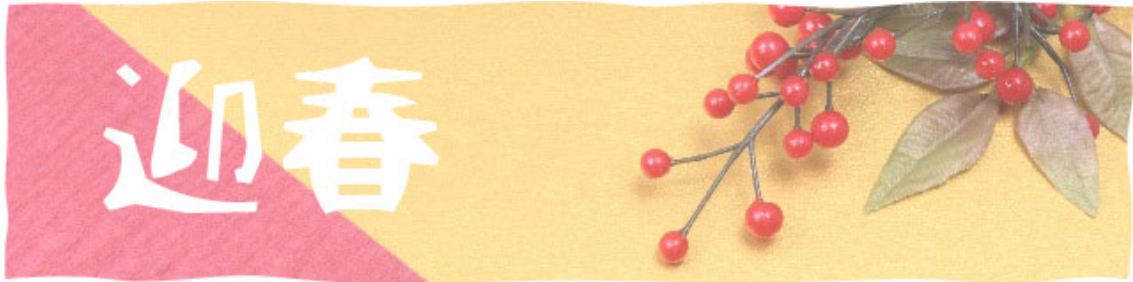


●●●● お住まいの役立ち情報 ●●●●

お正月の常識・お正月からのお片づけ


新年 1 月 15 日までにするべきこと



お正月の三が日を過ぎて気になる事は、正月や新年の儀式の期間です。
お正月や新年の儀式はいつまでなのか。
また、そこで重要になる「松の内」について、日本人として知っておいて損のない事をご紹介します。

松の内とは

「松の内」とは歳神様が宿っている期間のことです。
もともとは元日から1月15日までの期間を指しますが、
近年は七草粥を食べる1月7日くらいまでを指すこともあります。
関東では1月7日まで、関西では1月15日までの事が多いようです。



初詣は松の内までに。
新年になって、正月に初めて神社やお寺、
寺院に参詣し、その一年の幸せを祈願する事を
初詣といいます。
昔は初詣は元旦だけでしたが、近年は松の内
までに行けばよいとされています。



門松は歳神様を迎える目印になるもので、松の内が終わる 1 月 7 日まで門前や玄関に飾っておきます。

※土地土地によって飾る期間が違うことも！

松の内の「松」は門松の松を指しています。

しめ縄

しめ縄も門松同様、基本的には1月7日までの期間に飾ります。

しめ縄は歳神様を迎えるための魔除けの役目があります。

飾り終えたしめ縄は、小正月と言われる1月15日に行われるお正月の火祭り行事である「どんど焼き」でお焚き上げして頂くのが通常の様です。

鏡餅

鏡餅は鏡開きまで。基本的には1月11日までの期間に飾ります。

縁起物・神様へのお供え物として飾った鏡餅の縁起を頂くため、お雑煮やお団子などで頂くのが「鏡開き」になります。

お供えしたお餅は、包丁などの刃物で切るのはご法度。木槌などで叩いて割りましょう。

年賀状

年賀状は松の内まで届くように出すのがマナー。1月7日を過ぎると、年賀状ではなく寒中見舞いになります。

新年のご挨拶

1月15日までに新年の挨拶を。

新年の挨拶も、1月7日松の内までというのが一般的です。

その期間に済ませるのは難しい事もありますが、仕事関係の挨拶まわりをする場合は1月15日くらいまでに済ませるようにしましょう。

七草粥

七草粥は1月7日の朝に食べます。

無病息災、豊年の願いを込めて食べる七草粥には、消化を助けるせりやすずな、吐き気に効果があるごきょうなどが含まれています。

年末年始の暴飲暴食で疲れた胃腸をいたわり、不足しているビタミンを補うという意味もあります。

